

第12回 吉見町立小学校統合再編準備委員会 次第

日 時：令和6年11月27日（水）

午後3時00分

場 所：吉見中学校2階 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 前回議事録の承認

4 議 事

（1）専門部会の報告について

・総務部会

資料1

（2）校章候補の選定について

（3）平面計画（案）について

資料2

5 そ の 他

6 閉 会

【配布資料一覧】

資 料 1：第3回総務部会報告

資 料 2：平面計画（案）

第 3 回 吉見町立小学校統合再編準備委員会

総務部会報告

(令和 6 年 1 1 月 2 7 日)

開催日時	令和 6 年 1 0 月 2 9 日 (火) 午後 3 時 1 5 分から午後 4 時 0 0 分まで
開催場所	吉見中学校 2 階 会議室
出席者	小林克則部会長、荒井健博副部会長、小林正義部会員、田村はるみ部会員、宮崎敦部会員、小川広太郎部会員、寺山さおり部会員、栗田智子部会員、小澤美穂子部会員、山内哲也部会員、西條宏実部会員、船田真由美部会員、水野智禎部会員、吉田清司部会員、矢嶋保男部会員、瀬戸正広部会員、小澤俊則部会員
欠席委員	矢吹千保部会員、小田篤部会員、齋藤ディエゴカズミ部会員
事務局	教育総務課小学校統合準備室課長補佐：伊田道裕、同小学校統合準備係長：島田久司、同学校教育推進支援員：内田哲雄、同指導主事兼同課長補佐兼学校教育係長：刈谷良嗣、同指導主事兼同課長補佐：堀口将吾
議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 校章の選定について (2) 体操着の選定について 4. 事務連絡 5. 閉会
配布資料	資料 1：応募結果について (当日配付) 資料 2：体操着等の選定について
協議・決定事項等	1 校章の選定について・・・資料 1 ・応募総数 1 6 9 案 (一般：4 6 案、児童：1 2 3 案) ・一次選定について 1 6 9 案の中から選定基準を踏まえ、3 点を選定する。 ※ 1 1 月 1 3 日 (水) までに、事務局へ提出 ・1 1 月の総務部会で校章候補数点を選定する。 2 体操着の選定について・・・資料 2 ・体操着に関するアンケート調査の結果について報告 (3 3 8 世帯の回答) ・学校指定品等について協議 ① ジャージ (上下) の作成について

	・アンケート調査の結果、「必要」と考える保護者が45.9%、「どちらともいえない」が、31.7%であったので、現段階では、ジャージを作成するという判断をすることは難しい。 ・ジャージがあったほうが、指導はしやすいと思うが、とても高価である。 ・統合小学校開校後、ジャージの必要性について意見が多くあれば、ジャージの作成について、検討していただきたい。 結果 <u>ジャージ（上下）については、現段階では作成しないこととする。</u> ②半袖、半ズボンのデザインについて ・アンケート調査の結果、「小中継続利用できるほうがよい」と考える保護者が47%、「どちらでもよい」が、26.3%であった。 ・小中継続して使用できることのメリットとしては、経済的である、小中の一体感があるなどの意見があり、デメリットとしては、児童生徒が見分けづらいと保護者、教職員からあった。 ・児童生徒の見分け対策として、名札により判断する。また、小学生は、屋外活動については帽子を着用、屋内では上履きにより判断ができる。 ・体操着等については、機能性を重視したいとの意見が多くあり、現在中学生が着用している体操着については、問題はない。 結果 <u>体操着については、中学校に合わせ、小学生と中学生が見分けられるようにする。（名札の色分けなど）</u> ③上履き、給食着（エプロン・帽子・マスク等）について ・各学校において、推奨品を示し、似たようなもの、または同じものを用意している。 結果 <u>指定品を定めるのではなく、現行の推奨品を運用していくこととする。</u>
課 題 等	特になし
備 考	

第3回吉見町立小学校統合再編準備委員会 総務部会 次第

日 時：令和6年10月29日（火）

午後3時00分

場 所：吉見中学校2階 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 校章の選定について

資料1

(2) 体操着等の選定について

資料2

4 事 務 連 絡

5 閉 会

【配布資料一覧】

資料1：応募結果について（当日配布）

資料2：体操着等の選定について

統合小学校の校章デザイン候補一次選定

お名前： _____

応募結果一覧表の中から以下の選定基準を踏まえ、3点を選定し、番号をご記入ください。

番号		

■選定基準

下記の応募条件に合致する校章デザイン案で、校章デザインの説明を踏まえ、校章デザイン候補の選定をお願いします。

【応募条件】

- ・ 町内唯一の新しい小学校の校章としてふさわしいものであること。
- ・ 様々な場面で活用しやすく、拡大や縮小しても分かりやすいものであること。
- ・ 未発表の自作のもので他の商標や他校の校章の模倣でないこと。
- ・ 単色又は白黒で表示してもイメージが損なわれないものであること。
- ・ グラデーション、ぼかし、濃淡で表現しないこと。

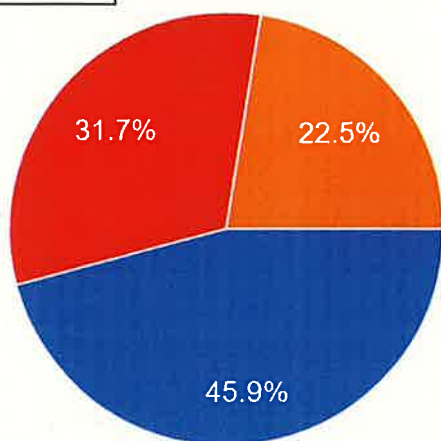
同封の返信用封筒で11月13日（水）までに投函もしくは吉見町教育委員会（吉見町役場2階）までご提出くださいますようお願い申し上げます。

(2) 体操着等の選定について

1 体操着に関するアンケート調査の結果について（まとめ）

●ジャージ上下の必要性について

保護者



- 必要
- どちらともいえない
- 不要

「必要」とする主な理由

- ・冬など寒くなる季節には長袖長ズボンがあった方が統一性もあり、運動に適した服装だと思うから。
- ・不要にすると基準が不明瞭になり、統一感がなくなるため。いじめの対象になる可能性も。
- ・汚れても安心な防寒着があると嬉しい。 など

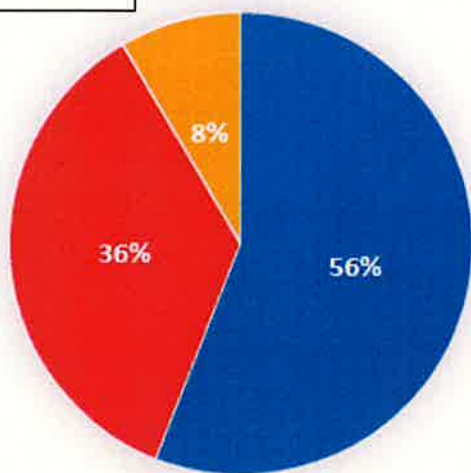
「どちらともいえない」とする主な理由

- ・指定があれば、どんなものを用意すればよいか悩まずに済むが、指定でなくなれば安価ものを用意できるという利点がある。
- ・指定のものがあつた方が楽だが、全部揃えると費用が高くなるのではと不安がある。 など

「不要」とする主な理由

- ・統一のものを着る必要性を感じない。多様性の時代に合わせたらいいと思う。
- ・今まで使っていないので無くても大丈夫。
- ・色だけ指定して、個人でジャージを準備すればよい。 など

教職員



- 必要
- どちらともいえない
- 不要

「必要」とする主な理由

- ・体育をしてよい服装の判断が、私服の場合だと担任の主観になってしまい、安全性に心配が残る。
- ・運動に適した長袖、長ズボンは必要だと思う。
- ・生徒指導を含めて体育指導をする際、統一された体操着の方がよいと思う。

「どちらともいえない」とする主な理由

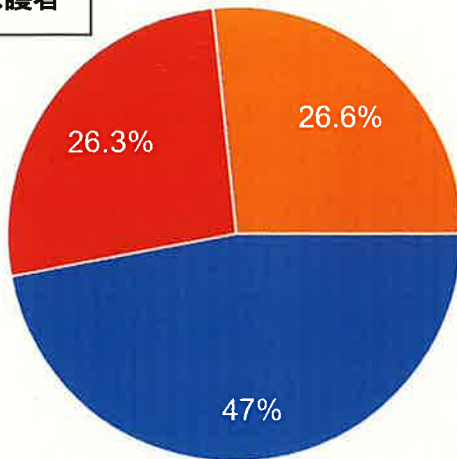
- ・あると指導しやすいが、なければトレーナー等に名札をつける等、冬用の上着を作る。
- ・保護者、児童の意向で選択できるようにすればよい。
- ・安全性を考えてあれば、ジャージは統一しなくてもよい。しかし、宿泊学習や行事等を考えるとあつた方がよい。

「不要」とする主な理由

- ・小学校では、必要な保護者がジャージを購入すればよい。冬の時期は、トレーナーや自分のジャージを各家庭により持たせればよい。
- ・現状で使用する児童がいない。
- ・安全面での家庭への啓発が必要ですが、家庭で運動にあつた服を用意してもらうのがよい。

●中学校までの継続利用について

保護者



- 小・中継続して使用できる方がよい (小・中共通)
- どちらでもよい
- 小・中別々の方がよい

「小・中継続利用の方がよい」とする主な理由

- ・サイズアウトしたものを譲りやすい。
- ・経済的でいいし、小中の繋がりが深まりそう。
- ・小学校高学年になると買い替えたい時期であり購入してもすぐに中学生になるため、継続して使用できるなら金銭的に助かる。 など

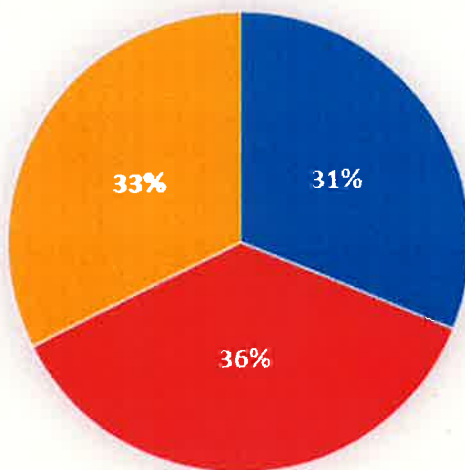
「どちらでもよい」とする主な理由

- ・成長におけるメリットは買い替えが困らない。デメリットは、区別がつかなくなる。
- ・どちらにしてもサイズが大きくなるので買い替えるため。
- ・親としては金銭的に同じ方が助かるが、子どもは、違う体操着の方が中学生になったという気持ちが強くなる気がする。 など

「別々の方がよい」とする主な理由

- ・校舎が近くなるので、混在している時にすぐに見分けがつく。
- ・小中一貫校ではないから同じものでなくても良いのではないかな。
- ・別々の方が、小学生と中学生としての自覚が持てると思ったから。

教職員



- 小中共通
- どちらでもよい
- 小中別々

「小・中継続利用の方がよい」とする主な理由

- ・保護者の負担が減るのでその方がよいし、小学校として支障がない。
- ・買い替えもせず、長く着用でき、成長に合わせて買い替えることができるから。
- ・成長するタイミングがバラバラなので、買い替えるのがもったいない。

「どちらでもよい」とする主な理由

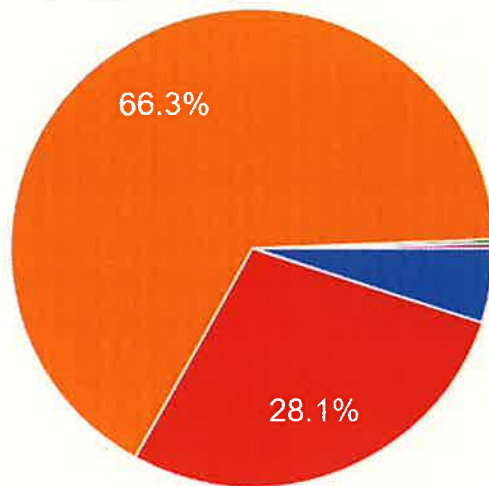
- ・成長により買い替えるのであれば、どちらでもよいのでは。
- ・小学生の時でも数回買い替えるので、共通にしなくてもよいのでは。共通すれば、兄弟等がいる家庭は再利用ができる。
- ・お金がかかるものなので、継続して使用できるとよいが、別であれば、小中が分かりやすい。

「別々の方がよい」とする主な理由

- ・学校内外で小中の判別ができるほうが、生徒指導上、また安全上必要だと思う。
- ・小学校から中学校に上がるという気持ちが大事であると考えます。
- ・共通にしたとしても買い替えが必要になる。

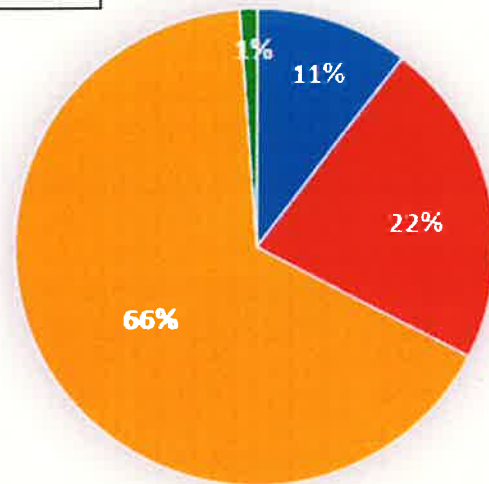
●体操着等に最も重視することは。

保護者



- デザイン
- 価格
- 機能（耐久性や速乾性など）
- 全て
- 黒ずみにくい。

教職員



- デザイン
- 価格
- 機能
- その他

機能性について

- ・ 耐久性、速乾性、通気性がよい素材。
- ・ 土汚れが落ちやすい、毛玉ができてにくいもの。
- ・ 昔ながらのデザインではなく、現代らしいデザインが良い。
- ・ ストレッチ機能。 ・ 肌にやさしい素材。 など

体操着等についてのご意見・ご提案など

- ・ 高学年になった時に統合するが、体操着を新たに買うことがないよう、卒業までは現在の体操着着用可にしてほしい。
- ・ 白色ではなく紺色などにすれば下着が透けない。
- ・ 薄い色がついていると、高学年は気にならない。
- ・ もう少し価格を安くしてほしい。
- ・ 半ズボンタイプではなく、ハーフパンツタイプのものがよい。
- ・ 防犯上、大きな名前を付ける必要はない。（名前はなくてもよい。小さくてもよい。）
- ・ 統合後、一定期間は現在の体操着の使用を認めてほしい。
- ・ 学年カラーはやめてほしい。
- ・ 体操着そのものより、販売のシステムを保護者に近づけていった方がよいと思います。

2 学校指定品等について

◇協議事項

●ジャージ上（長袖）、下（長ズボン）の作成について

- ①作成する
- ①-1 : 令和11年度以降、中学校で継続利用できるものとする。
⇒ 小学生と中学生が見分けられる工夫（名札の色分けなど）
 - ①-2 : 小学校と中学校は、別々のデザインとする。
※作成する場合、体育授業時には、指定ジャージを着用

②作成しない ⇒ 体育授業時に支障が出ない程度のものを着用

●半袖、半ズボンのデザインについて

- ①中学校に合わせる ⇒ 小学生と中学生が見分けられる工夫（名札の色分けなど）
- ②新たなデザインのものを作成する。

●上履き、給食着（エプロン・帽子・マスク等）について

- ①統合後も現在の運用を継続する。
- ②その他

参考：中学校体操着（半袖）



表



裏

参考：中学校体操着（半ズボン）

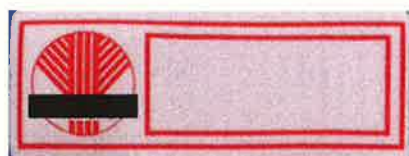


表



裏

参考例：名札（名札の色分け）



■施設構成の考え方

- ・水害対策及び小中の教職員の連携を重視し、2階に職員室と体育館を配置する。
- ・自然採光と通風を確保するため、校舎の中心に光庭を設ける。

■ゾーニングの考え方

1. 普通教室ゾーン

- ・普通教室は校舎南面に1階から3階の各階に2学年ずつ、まとまりをもって配置する。
- ・多様な学習形態に対応できるよう教室と一体的に利用可能なワークスペースを設ける。
- ・各学年の普通教室から利用しやすい位置に、階段・トイレを設ける。

2. 特別支援ゾーン

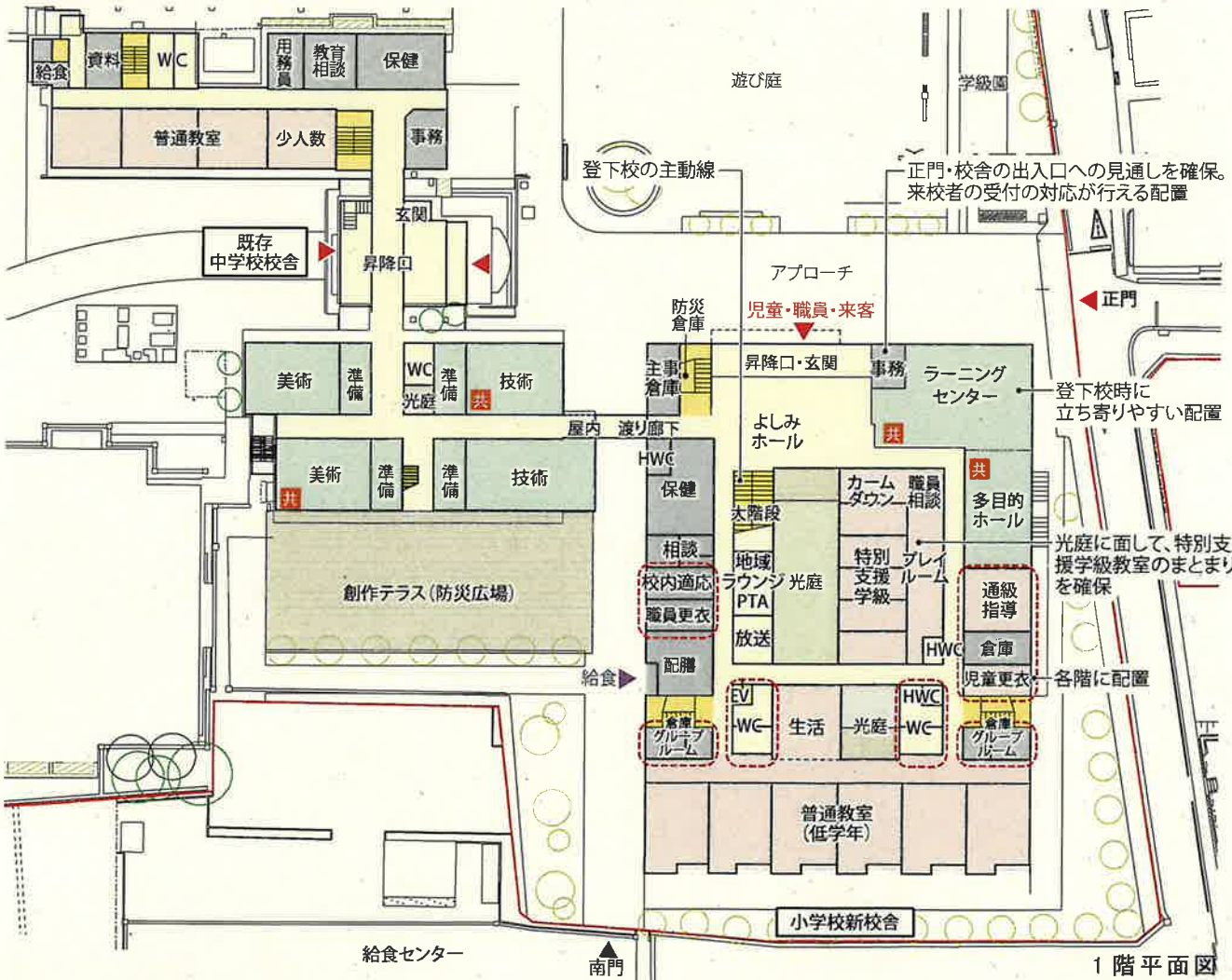
- ・特別支援学級・通級指導教室は、緊急時の避難や移動距離を考慮し、1階にまとまりをもって配置する。
- ・プレイルームやバリアフリートイレ等を設ける。

3. 特別教室ゾーン

- ・ラーニングセンター(図書室)は、学びや交流が広がる空間として整備し、立ち寄りやすく利用しやすい位置に配置する。
- ・主に利用する学年が利用しやすい位置に配置する。

4. 管理ゾーン

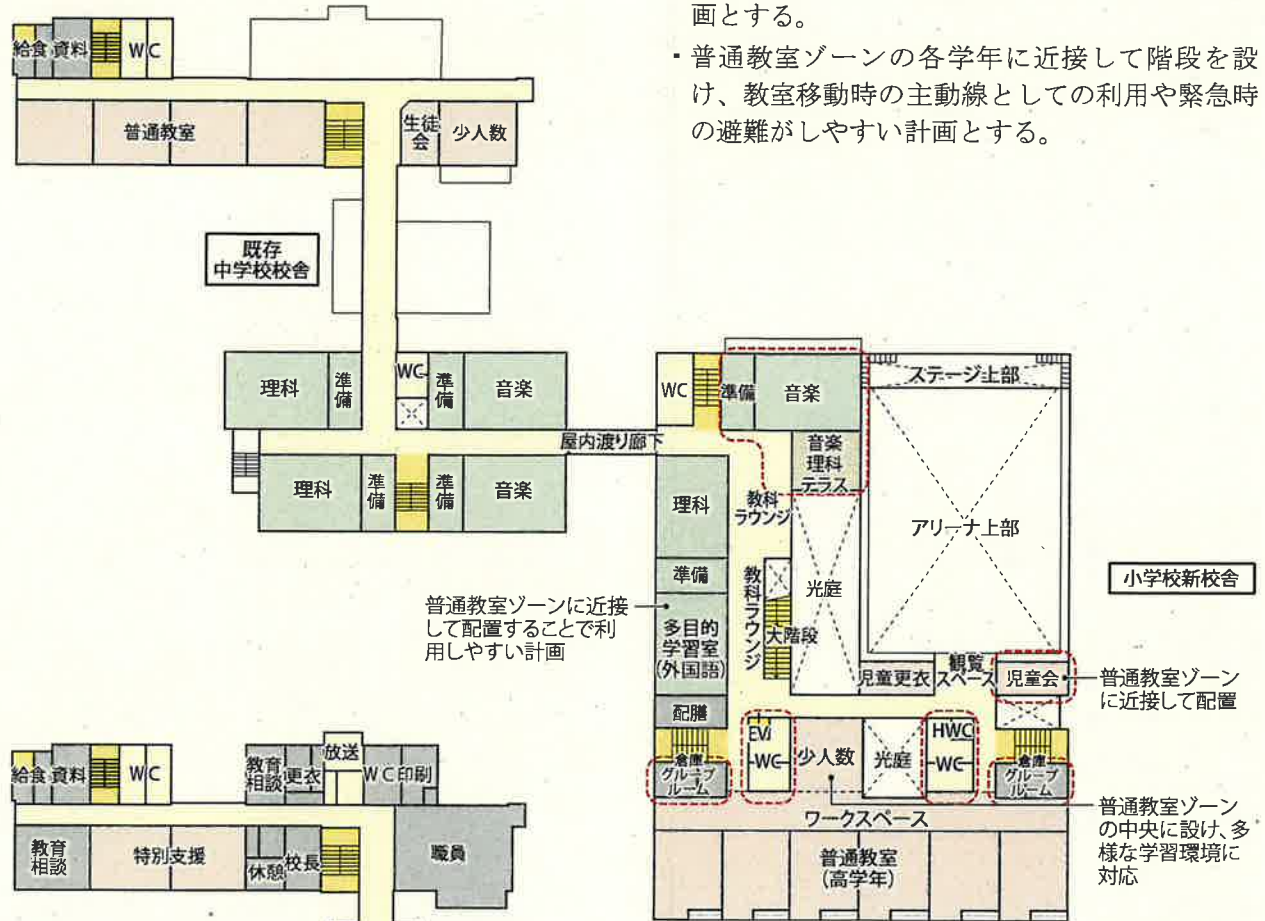
- ・職員室は、上下階へのアクセスや登下校の様子・グラウンド等の視認性を確保するため、2階北側に配置する。
- ・働きやすい執務環境とするため、校長室・職員室・印刷室・会議室等はまとまりをもって配置する。
- ・事務室は、1階に配置し、来校者の受付が行える配置とする。



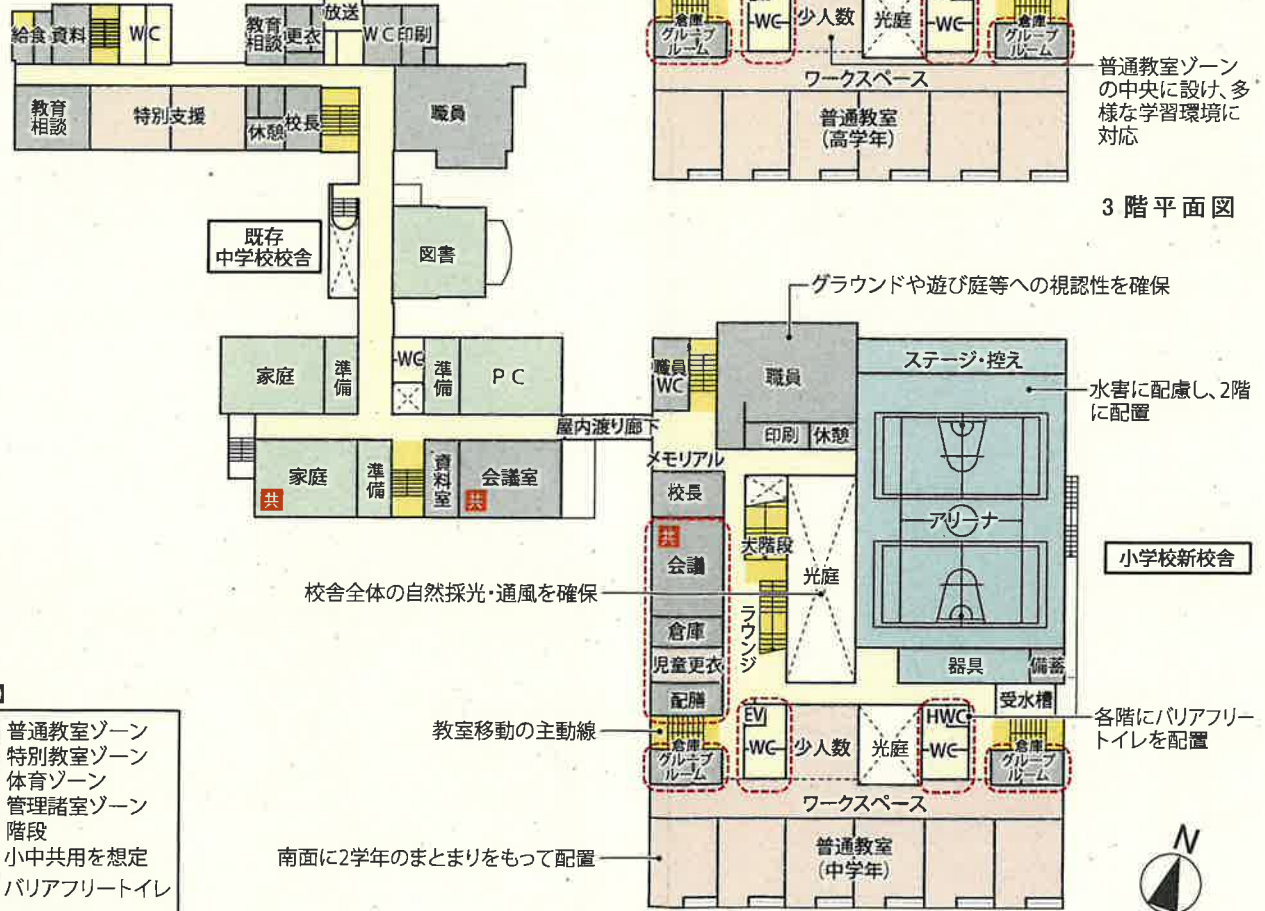
1 階平面図

■動線計画

- ・新校舎の中心に各階をつなぐ大階段を設け、登下校時の主動線や活動の場として利用できる計画とする。
- ・普通教室ゾーンの各学年に近接して階段を設け、教室移動時の主動線としての利用や緊急時の避難がしやすい計画とする。



3 階平面図



2 階平面図